

鳥獣の捕獲等（鳥類の卵の採取等）許可申請書

従事者証交付申請書

令和 年 月 日

横 浜 市 長

会社名及び代表者氏
名を記載してください。

印は不要です。

郵便番号 〇〇〇—〇〇〇〇
住 所 横浜市 〇〇 区 〇〇
氏 名 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇
職 業
生 年 月 日 〇〇年 〇〇月 〇〇日生
電 話 番 号 045—〇〇〇—〇〇〇〇
(法人にあっては主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

次のとおり鳥獣の捕獲等（鳥類の卵の採取等）をしたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条第2項及び第8項の規定により申請します。

見込みの数量を記載してください。数量を超えて捕獲することはできません（捕獲できる最大数です。）。

許可証番号	※										
捕獲等しようとする鳥獣又は採取等しようとする鳥類の卵の種類及び数量	種 類 数 量 ハシブトガラス または ハシボソガラス 卵 100個 、 ヒナ 100羽										
目 的	有害鳥獣捕獲のため（〇〇区公園維持業務委託（その〇））										
期 間	令和 元年 6月 1日から 令和 元年 8月 31日まで 通常は3か月以内です。 (最大で9月30日まで)										
区 域	横浜市 〇〇 区内										
方 法	手捕り										
捕 獲 等 又 は 採 取 等 の 後 の 処 置	安楽殺処分の上、焼却または埋設										
学術研究を目的として、捕獲等又は採取等しようとする場合にあっては、研究の事項及び方法											
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第7条第1項第7号に掲げる場所	☒ 鳥獣保護区 ☐ 休猟区 ☒ 公道 ☐ 自然公園特別保護地区 ☒ 都市公園 ☐ 原生自然環境保全地域 ☐ 社寺境内 ☐ 墓地 ☒ 特定猟具使用禁止区域（ 横浜市 ） ☐ 特定猟具使用制限区域（ ）☐ 猟区										
従事者証の交付を受けようとする従事者											
氏 名	住 所	職 業	生年月日	狩猟免状及び狩猟者登録証				鉄砲所持許可		共済又は保険	
				種 類	番 号	交 付 年 月 日	交 付 し た 都道府県知事名	許 可 番 号	許 可 年 月 日	期 間	金 額 (千円)
別紙	実際に従事する実施者について別紙の実施者名簿に記載します。										

(裏面)

生 息 状 況	
被 害 時 期	
被 害 対 象 物	都市公園、街路樹など
被 害 面 積	
被 害 見 積 額	

- 備考 1 ※印の欄には記入しないでください。
2 不要な文字は抹消し、該当する項目の□にレ印を付してください。
3 銃器を使用する場合は、「銃砲所持許可証」欄に銃砲所持許可証（麻醉銃の所持許可証を有しない者が麻醉銃を使用する場合は人命救助等に従事する者届出済証明書）の番号及び交付年月日を、「保険又は共済」欄に鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第67条第2項第1号に規定する損害保険契約の保険金額及び被保険期間又は鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則の一部を改正する省令（平成23年環境省令第10号）附則第2条第1項に規定する共済事業の給付額及び被共済期間を記載してください。
4 裏面は有害鳥獣捕獲の場合にのみ記載してください。
5 記入欄が不足する場合は、別に記入した書類を添付してください。
- 添付書類 1 鳥獣の捕獲等又は鳥獣の卵の採取等しようとする理由を証明する書面
2 鳥獣の捕獲等又は鳥獣の卵の採取等しようとする場所を明らかにする図面
3 銃器を使用する方法以外の方法を用いて捕獲等をする場合は、当該方法を明らかにした図面

鳥 獣 の 捕 獲 等 実 施 者 名 簿													
※番号	氏 名	住 所	職 業	生年月日	狩猟免許及び狩猟者登録				鉄砲所持許可証		共済又は保険		備 考
					種 類	番 号	交付年月日	免許を与えた知事	許可番号	許可年月日	期 間	金額(千円)	

◆ 住所は、会社の所在地でかまいません。

備考 1 「狩猟免許及び狩猟者登録」欄は、上段に狩猟免許、下段に狩猟者登録の番号等を記入してください。
また、所定の研修を受けた場合は、「狩猟免許及び狩猟者登録」欄の「交付年月日」欄の上段に研修を受けた日付を、
「発行機関名」欄に研修開催機関を記入してください。
2 ※欄は記入しないでください。